

子 おたり 小谷村×内田小学校 交流会 子どもたちの笑顔が広げる、友好の輪



①名刺交換をしながらご挨拶 ②内田小伝統のソーラン節を披露
③お互いの学校やまちの特徴を紹介 ④スタンプラリーで校内探検
⑤「なんでもバスケット」で大盛り上がり ⑥「また来てね」と最後にプレゼント



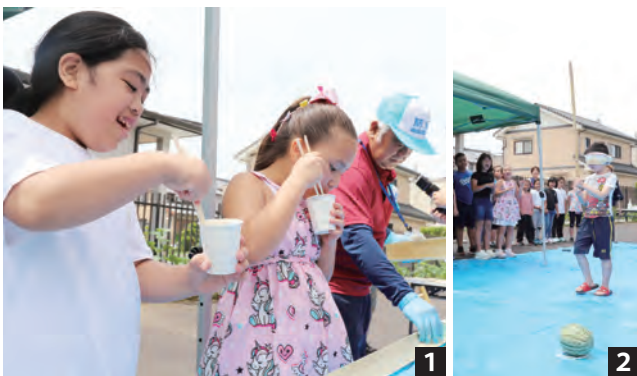
7月17日、市と友好都市協定を結んでいる長野県小谷村の小谷小学校5年生16人が菊川市を訪問。内田小学校5年生23人と交流しました。両校児童は、事前に互いの意見を出し合い、交流内容を企画。オンラインで事前に顔を合わせていることから、今回の対面交流では、すぐに打ち解け温かな交流を行いました。

教室で対面した児童たちは、笑顔で挨拶を交わしながら自作の名刺を全員と交換。その後、両校代表児童が、スクリーンを使って、自分たちの学校や住んでいるまちを紹介しました。また、校舎内のさまざまな場所を巡りながらスタンプを集める「スタンプラリー」や、フルーツバスケットのルールを応用した遊び「なんでもバスケット」が行われ、両校児童は、自分たちで考えた企画を通して交流を楽しんでいました。

会の最後には、市公式マスコットキャラクター「きくのん」が登場。「きくのん」から小谷小児童へ深蒸し菊川茶ペットボトルがプレゼントされ、楽しい交流の時間を締めくくりました。

日 外国籍の子どもたちが風物詩を体験 日本の味を楽しむ夏！

7月11日、ひらかわ会館で外国籍の子どもたちが日本の夏の風物詩である流しソーメンとスイカ割りに挑戦しました。市内に住む外国籍の子どもに、日本人との交流を身近に感じてもらい、日本の文化を楽しんでもらおうと青少年健全育成平川支部が開催している恒例行事です。日本ならではの体験に子どもたちは大喜び。笑顔と歓声があふれる中、ブラジルやフィリピンなど異なる文化の子どもたちが同支部のメンバーと一緒に楽しい時間を過ごしていました。



①日本の味そうめんを実食！ ②みんなの声が道しるべ

着 菊川東中学校 和服文化授業 物で感じる和の心

7月7日、菊川東中学校で授業「つなげよう和服の文化」が行われました。日本の民族衣装「和服」に関心を持ってもらおうと、家庭科の一環で実施されました。同校3年生112人が、着物の仕立てを行う工房や呉服店を営む地域ボランティア4人から教えてもらいながら浴衣の着方やたたみ方にチャレンジ。生徒は日常では経験することのない帯や腰ひもの結び方に苦戦していましたが、着終えると「涼しい」「着心地がいい」と和服の魅力を体感していました。



①帯結びを優しく手ほどき ②着終わった後は綺麗に畳む